

SH-8 II

CNC 1POINT COILING MACHINE

1ポイントコイルングマシン

多機能な仕様、1ポイント+トーショナルタッチ+初張力サーボ付のSH-8を
全て見直しフルモデルチェンジ・操作性の向上と高速生産性を実現しました

制御システムは操作性と計測機能、多機能な生産管理が行える「MNO」を搭載
検長器はサーボモータ駆動の接触式MSDセンサを標準とし、静電容量・画像センサも選択可能

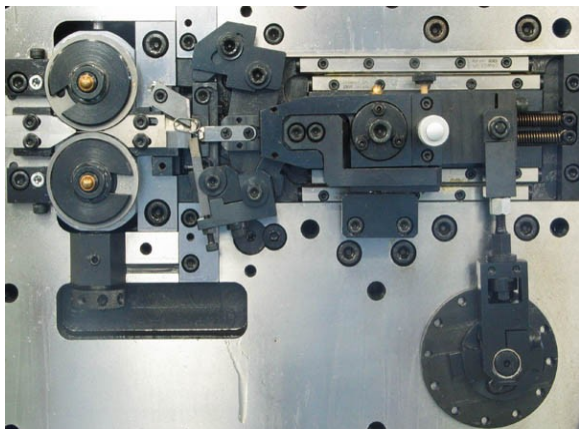


オリイメック株式会社

〒333-0845 埼玉県川口市上青木西1-17-24 TEL:048(256)3511 FAX:048(256)3595
<http://www.oriimec.co.jp/> e-mail: info-spring@oriimec.co.jp

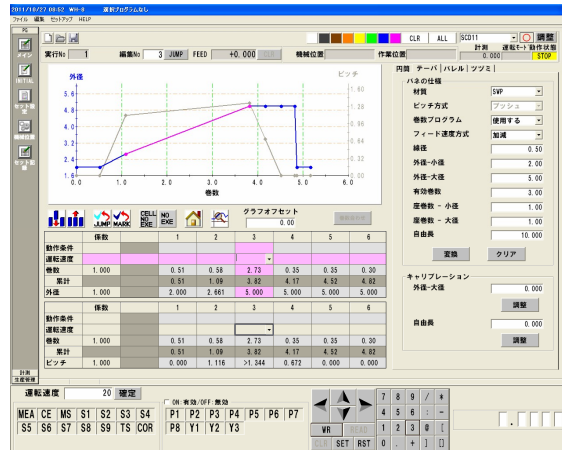
■特長

- フィード、カット、ピッチ、ポイント、トーション、初張力、MSD-1の7軸を標準装備。
- カット軸とトーション軸を分離したので、セットが容易となり、生産速度もUPしました。
また、カッティングツールの対称位置に補助ツールを取り付けることができ、加工範囲が広がりました。
- トーション軸はクランク機構にし、リンク支点を後方に移動したのでアーバ周辺のスペースが広がりました。
また、初張力軸はフロントプレート内部に設置し、直動動作に変更したのでポイントを上下に動作させても初張力は変化しません。
- 押しばね作成時は巻数プログラムを使用することが可能です。ピッチと外径を別々のタイミングで変更するプログラムが組みやすく、押しばねの調整が容易です。またピッチ線図により調整作業を視覚的に確認できます。
- 円筒・テーパ・バレル・ツツミバネは、バネの仕様を入力するだけで、プログラムに変換され製品が巻けます。また、テーパバネは係数を変えることにより、お椀型・ストレート型・富士山型と100段階の微調整ができ、荷重が容易に出せます。
- プログラムは全軸固定表示の横スクロール画面により、プログラムの流れ、各軸の動作状況、入出力、ジャンプ項目等が一目で把握できます。
- 標準の検長器はタッチセンサとサーボモータの位置決め機能により自由長の測定を行う検長器「MSD-1」です。
1/1000mm単位で測定が可能です。
- 様々な検長方式（接触式、静電容量 又は画像）、自動修正機能、多機能な生産管理画面等により製品管理が容易となります。
- オプションとしてアーバ前後軸とコイルリング中の線材のスリップを検知するスリップセンサを用意しました。



コイルリング部

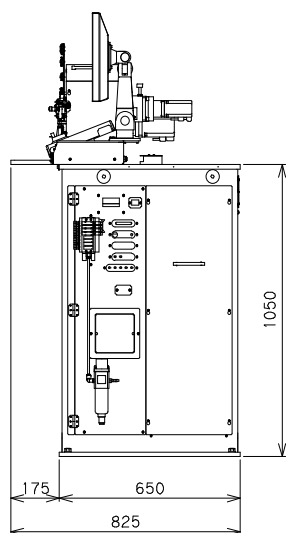
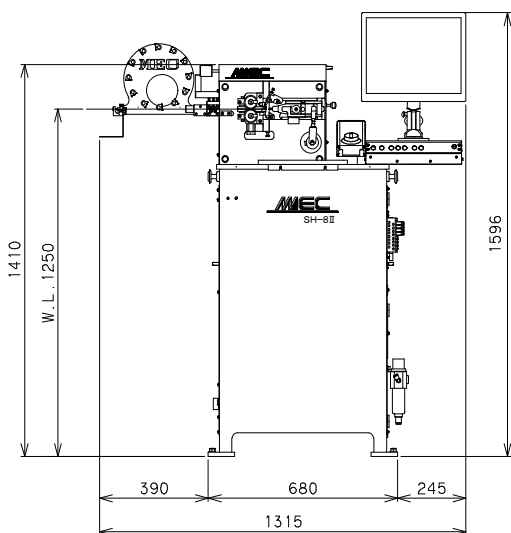
トーションはクランク機構の新設計、初張力サーボはフロントプレートの中に収めスッキリした前面プレート部。



プログラム画面(ピッチ線図)

ピッチ、外径をそれぞれ別のタイミングでプログラムを作成することにより、簡単に押しばねプログラムの調整が出来ます。

■機械仕様



標準仕様	線径	φ0.1~0.8mm
	外径	φ20mm
	D/d	4以上
線送り軸	最小入力	0.001mm
	最大速度	188 m/min
カット軸	最小入力	0.001°
ピッチ軸	最小入力	0.001mm
ポイント軸	最小入力	0.001mm
トーションアタッチ軸	最小入力	0.001°
初張力軸	最小入力	0.001mm
アーバ軸(OP)	最小入力	0.001mm

電磁弁	4個 (Max 8個)
使用空気圧	Max 0.5 MPa
電源	AC 三相 200V 16A
本体重量	400kg
制御装置	パソコンによる制御 最大9軸

ディスプレイ	17インチ TFT カラー液晶
外部記憶装置	USB メモリ
環境温度	0~40℃

別に標準付属品明細表がございます。製品改良のため仕様、寸法、デザイン、等を予告なしに変更することがあります。